

謹賀新年

2007年一元旦

医療法人財団 東京勤労者医療会

# くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo\_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

## 回復期リハビリテーション病棟へ

代々木病院  
本館4階病棟



リハビリ室で。入院中の四家武子さん (世田谷区)

代々木病院本館4階病棟は、ことし2月から回復期リハビリテーション病棟となります。回復期リハビリテーション病棟は、発症し最初に入院した病院(あるいは当院の一般病棟)で治療を受け、症状が安定した患者さんに対して、発症により低下した機能の回復をめざして治療や訓練をおこないます。リハビリテーションを集中して提供することで、家庭復帰を支援する病棟です。対象疾患は下の表のとおりです。4階病棟医長の相澤秀樹医師に聞きました。

### 生活機能回復支援体制少ない東京

脳卒中は、65歳以上の死亡原因の中では、1980年代から3位に後退しましたが、ねたきりなど生活機能低下の原因疾患としてはもっとも多く、転倒・骨折、関節疾患を合わせると約半数を占めます。したがって、急性期疾患が落ち着いたところで、早期に生活機能回復を目的としたリハビリを行い、いままでの在宅生活を継続できるように、また、障害を伴っていても、新しい自分としての価値を発見し家族とけるような支援が必要となります。



### 差額室料もなく身近な病院

代々木病院の特長は、生活の場にある身近な病院で、しかも、差額室料もいたいたいでないので、経済的に

ところが、いままであるといど重度な脳卒中の患者さんは、東京では、集中的なリハビリ医療を受けられる病院が少なく、山梨、神奈川、静岡などにある専門病院に行かざるを得ませんでした。

## リハビリを集中して提供 家庭復帰を支援

も安心して入院できることです。そして、リハビリテーション医療は、医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療ソーシャルワーカーなどのチームによる取り組みがもっとも重要です。回復期リハビリ病棟になると、チームに

### 回復期リハビリテーション病棟の施設基準 (厚生労働省告示)

- ① 脳血管障害、脊髄損傷の発症または手術後2カ月以内のかた
- ② 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の骨折の発症または手術後2カ月以内のかた
- ③ 外科手術、または肺炎などの治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術または発症2カ月以内のかた
- ④ 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節、膝関節の神経、靭帯損傷後発症から1カ月以内のかた

代々木病院では、かつて脳卒中は、発症後、早期からの集中的なリハビリを開始することが必要と、先進的な取り組みを行い、そのなかで、チーム医療の力を培ってきました。回復期リハビリ病棟の医療に挑戦するなかで、チーム医療にいつそう磨きをかけていきたいと思えます。

### 主な内容

- 2面 ● 生活と病氣―感染性胃腸炎
- 3面 ● アスベストによる健康被害20年前の肺手術標本で証明、職業病に認定
- 代々木病院で狂犬病ワクチン接種開始
- 4面 ● 友の会ページ 新春対談
- 7面 ● 診療表